

2 マタニティサロン・0歳あかちゃんサロン



水戸市



サロン運営団体名称	あっとまま		
サロン開設年月	平成28年7月		
開催日及び開催頻度	毎月1回 第1、3月曜日(10:00~11:30)		
開催拠点	マタニティサロン: あっとまま事務所 0歳あかちゃんサロン: 水戸市児童館(ふれあいの館)		
代表者氏名	古山 みのり		
1回の参加人数	平均20人	1回の運営スタッフ数	平均5人
参加費(1人1回あたり)	無料		

目的(趣旨)

- 妊娠中から子育てについて気軽に情報交換ができる場を設ける。
- 乳児を連れて母親が気軽に足を運べる場を提供する。
- 「困った時」(急な母親の体調不良時の子どもの預かりや、子どもの体調不良時の買い物など)に、気軽に迅速に助け合える活動を行う。

内容

- 妊婦さんを対象**
- 産前産後の不安や悩みを話し合い、参加者みんなでおしゃべりをしながら解決策を探る。
- 0歳赤ちゃん和妈妈及び妊婦さんを対象**
- お母さんの気分転換や、子育てのためになる講座を開催する。



生活課題への対応

- 妊娠中から産後にかけての継続した支援体制により、親の不安解消や虐待・産後うつなどの抑止を図る。
- 産前産後の生活の変化に対応することができない親が多くいると感じる中で、困った時に気軽に連絡をもらえるような「頼れる」存在となる。

継続性

- 会員の随時募集
- 地域の方から、不要になったベビーグッズやベビー服を集め、会員にレンタルしたりプレゼントしたりする。
- 「お互いさま」の気持ちを大切に、受けた支援を次は自分が返すという仕組みが生まれるような活動を心がける。

財源の確保

- 年会費(500円)
- 助成団体からの助成金



社会資源の活用

- 地域の子育て中の母親がスタッフとなる。
- 今後は子育て世代のみならず、地域社会のあらゆる人の関わりをもちたい(NPOとの連携や、子連れでボランティアの参加など)。

先進性

- 子育て中の母親達が、自分たちが当時欲しかったサポートを提案し、実施に至ったところ。

PRポイント

- 妊娠中から地域でつながりをつくっておくことで、産後の子育てが幸せに楽しくなると思います。また、0歳児と一緒に気軽に外出できるサロンとして、お母さん達に不安なく参加していただけます。



これからサロン活動を予定している方へのメッセージ

助成金により活動を安定させ、平成29年10月には水戸市と協働して「初めてのママパパ応援事業」を開催することができました。さらに、水戸市多世代交流センターからもお声かけいただき、月1回出張サロンを行っています。参加者だけでなく、自分たちも楽しく無理せず活動することを心がけています。サロンで知り合った本当に困難をかかえている方には積極的に声をかけて、その場限りにならない関係を築けることも、このサロンの特長であると感じ、やりがいを持って活動しています。